

森のふたごいぬ

大喜び

絵・文 松田絵莉





森のレストランは大いそがし

絵・文 松田絵莉



もり
森のレストランはおお
え ぶん まつだ えり
絵・文 松田絵莉

ほくの^な名まえはカエルのエル

ちょっとおつちよこちよいだけどこからもち

このたび^{もり}森のバスタレストランをオープンすることになったんだ。

よろしくね!!

あ〜いそがしくなってきた。

いま^{もり}から^{みせ}森のみんなにお店のせんでんをしに行かなくちゃ。

〇〇（ここはお子様の名前を呼んで下さい）ちゃん、てつだってくれる？

お手伝いしてくれたらとてもたすがつちゃうんだけどなあ？

どう？

エルはじぶんのゆめがやっとなってレストランをオープンできることになり、とてもうれしかったのです。

とてもおいしいバスタのメニューを50しゅるいも作るんだって!

〇〇（お子様の名前を呼んで下さい）ちゃんは、バスタは好きかな？



よーし、がんばりもできたぞ。
あした10時にオープンパーティー。
たくさんきてくれるとうれしいなあ……。

エイルはお店のじゅんぴをはじめます。
ソースをつくったり、それから、おしらせのおてがみをかいたり、
いそがしくなってきました。
じゅんぴがおわって、さいごは、お店の中をぴかぴかにおそうじしました。

むかし、エイルのお母さんがいっていました。
ぴかぴかにおそうじすると、心もきれいになって
しあわせの風がふくんだよって……。
エイルはお母さんのことばを思い出して、がんばってやりました。

それから新しいエプロンにつけがえて
森のみんなにおしらせにいきました。

まず、はじめに出会ったのは……? だれかなあ……?



それはうさぎのラビでした。

「こんにちは」

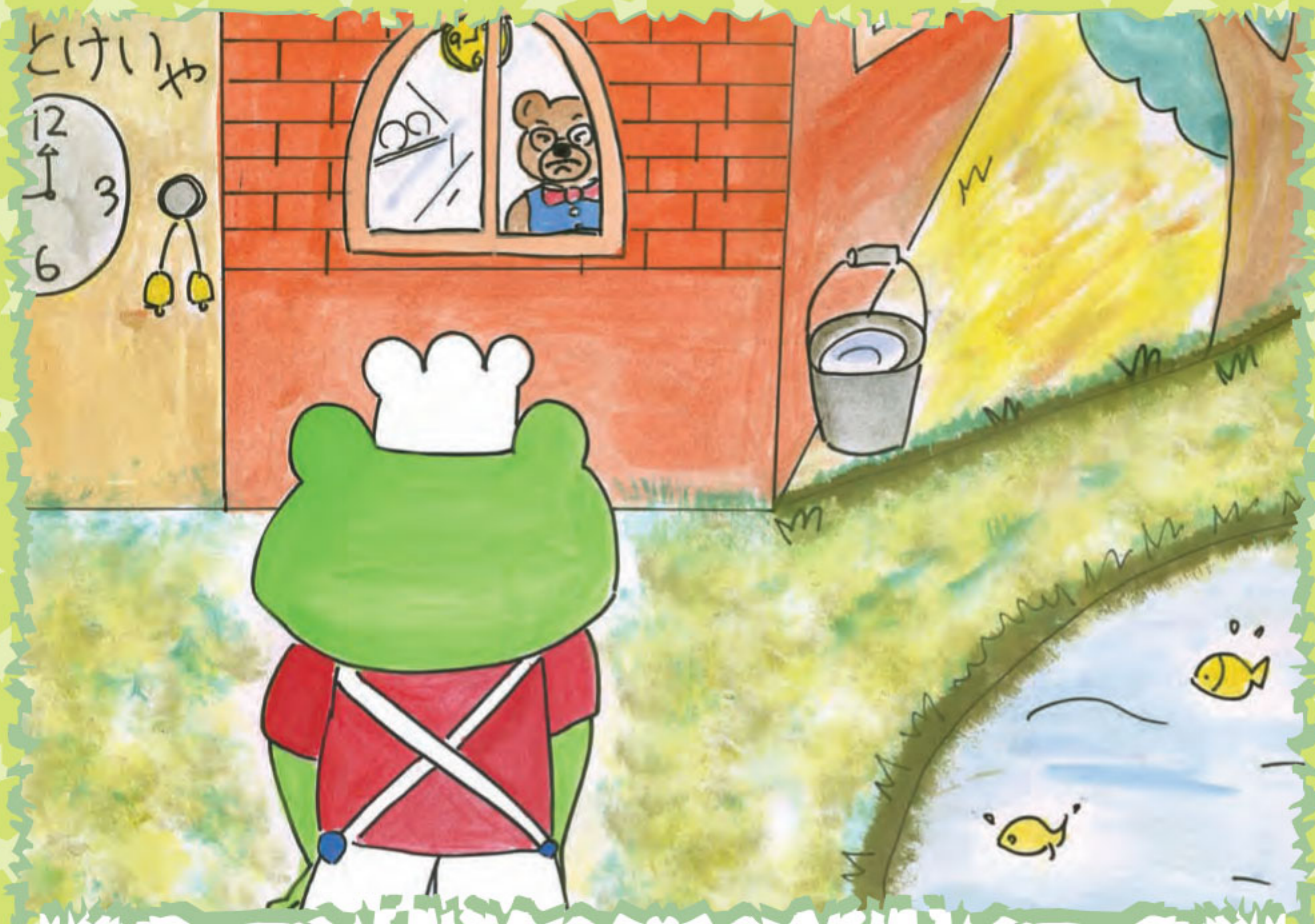
「こんにちは。ん？ きみは、だれ？ みかけない顔だね」

「ほくはエル。向こうの大きな木のところに
パスタレストランをオープンすることになったんだ。
あしたはオープンパーティーをやるからぜひきてほしいんだ」

「もし、行けたら行くよ。ほくはラビ、じゃあな」

ラビとはすぐわがれました。

次にいったのはだれのうちかな？



それは池のほとりにとけいやさんをやっている、くまのベアーおじさんのお店^{みせ}でした。ベアーおじさんはいつもきげんがわるく、そのため、おきゃくさんはこなくてお店^{みせ}はいつもひまでした。

この日もエルが店^{みせ}の前^{まえ}にきたとたん、ほら、エルをにらんでいます。見たこともないエルをあやしんでいるかのようです。

「あの……こんにちは。ほくエルといいます。あしたバスタレストランのオープンパーティーをやるので、ぜひきてください」と、いいました。すると、

「フン！ そのバスタはうまいのか?! もし、まずかつたらお金^{かね}ははらわんぞ、いいな!!」

エルはびっくりしましたが、すぐに

「だいじょうぶです。あしたはすべてのバスタのししょくパーティーですので、お金^{かね}はいりませんから……」と、おそろおそろいいました。そのひとことで、ベアーおじさんは一回^{いつがい}だけ、にこつとわらいました。

さて、次^{つぎ}に行^いったのは、だれのところかな?